

製品名: KLF4 (11U14) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe13061**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	KLF4
別名	Krueppel-like factor 4; KLF4; EZF; GKLF;
遺伝子 ID	9314.0
SwissProt ID	O43474
免疫原	ヒト KLF4 の組み換えタンパク質

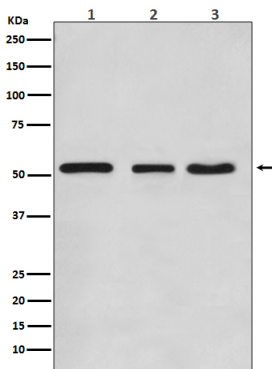
背景

KLF4 は、表皮の分化層で高度に発現している赤血球 Kruppel 様因子 (EKLF) 多重遺伝子ファミリーのメンバーです。KLF4 は上皮細胞の分化に重要な役割を果たしており、正常な胃の恒常性維持に必須であり、転写のリプレッサーとアクティベーターの両方として機能します。転写因子; アクティベーターとしてもリプレッサーとしても機能できます。5'-CACCC-3' コア配列に結合します。自身の遺伝子のプロモーター領域に結合し、自身の転写を活性化できます。胚発生中に主要な転写因子の発現を制御します。胚性幹細胞を維持し、その分化を防ぐ上で重要な役割を果たします。皮膚のバリア機能の確立と、出生後の眼表面の成熟と維持に必要です。上皮細胞の分化に関与しており、骨格と腎臓の発達にも機能する可能性があります。p53/TP53 転写のダウンレギュレーションに寄与します。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



(1) HeLa 細胞溶解物、(2) NIH/3T3 細胞溶解物、(3) C6 細胞溶解物における KLF4 発現のウエスタンブロット解析。